

京都経済短期大学 今瀬ゼミ 卒業論文集

(ゼミ研究発表会 2017.12.21 卒論要旨集)

ゼミテーマ:「自治と協働による地域づくり」
(社会的課題を解決して地域を活性化する)

ゼミ内容

基礎知識の学習を踏まえて、ゼミ生が独自プロジェクトを企画立案し、学外現場で調査研究や実践活動に取り組みました。学外の地域社会、行政機関、企業、NPOなど様々な人たちと一緒に地域づくりに取り組みました。

ゼミを通じて、地域社会に貢献するとともに、実社会で役立つ知識やノウハウを学習しました。

目次【今瀬ゼミ生卒業論文】(要旨集編集:石倉恋 和田葵) (卒論フルペーパー、査読あり、各14,000字、2017年11月)

1. ユニバーサル・スタジオ・ジャパンが与える
地域活性化とその影響 (上谷依子)
2. 日本の観光産業について (田口汐里)
3. 西京区における地域活性化
(梅野貴斗 大森大暉 佐々木琢成 杉森正基 外山宇海 林龍也)
4. マスコットキャラクターは必要か？ (石倉恋 中嶋誠也 和田葵)
5. 西京区の潜在的地域資源の発掘と発信 (塚田匠)
6. 地域密着個店のプロモーションを地域活性化に繋げるに
は(日下部侑希)
7. 富山県利賀村の実態 (清水りか)

5.西京区の潜在的な地域資源の発掘と発信

西京区の調査結果

①一般の西京区のイメージ

「嵐山」で有名なことや、少子高齢化に悩まされていることでイメージされている

②実際の西京区（地域を簡潔にまとめた）

大原野

- 「三鈷寺」への山の頂点は京都を一望できる
- 「大原野神社」をはじめ、歴史や風景を楽しめる場所がある

川岡

- 「赤手拭さん」のような知られざるシンボルがここにある
- 「天皇の杜古墳」など、京都市の史跡がある

西京区の催し物

- 「ふらっと西京」で話し合い、楽しみ合いができる
- 「西京区民ふれあいまつり」で、西京区民の笑顔を作る場がある

③現在の西京区の対策

町を美化活動などで、景観を良くし、自然豊かさや住みやすさを推進させること

④筆者の考え

西京区について知られていない人に向けて、興味を持ってもらえるよう、発信することが大切だと考えた。

以下が筆者作成の独自のホームページ

「ねえ、”西京区”ってどこだか知ってる？」(塚田匠)

<https://arashiyama-kyoto.jimdo.com/>

6. 地域密着個店のプロモーションを 地域活性化に繋げるには

日下部侑希

Q. CMでプロモーションを行うチェーン店と違い
地域に密着した飲食店はどのようにして
プロモーション活動を行うのか？

A. 調査の結果、SNSを利用したリアルタイム
での情報提供や地域のイベントに参加し、
プロモーション活動を行っていた

地域密着型個店は地域との密接な関係にあり
地域イベントに参加しPRを行うことによって相対的な
来店効果を生み出すことができる

地域イベントに会場した人にお店を
認知させることができる



お店のネームバリューが高くなるとその効果で
イベント参加者が増える

地域のイベントとお店のプロモーションを
同時に行うことによって
地域活性化の第一歩となる

卒業論文

西京区の潜在的
地域資源の発掘と発信

今瀬ゼミ 塚田匠

卒論の目的

- 西京区地域活性化に貢献
- 調査結果を多くの人に発信
- 西京区について知ってもらうこと

調査方法

- 文献調査
- 現地調査（フィールドワーク）
- ヒヤリング調査
- 参与観察（西京区のイベント）
 - 「ふらっと・西京」
 - 「ふれあいまつり」

調査結果から分かったこと

一般的な西京区のイメージ

- 「洛西ニュータウン」がある

- 「嵐山」が有名

- 「竹林」が有名
など



調査結果から分かったこと

実際の西京区①

- 区民は**少子高齢化の危機**を承知
- **問題解決、地域活性化に取り組んでいる**
- 人と人の“**つながり**”を重視
- **犯罪率が低い**
- **地域を誇りに思っている人が多い**

調査結果から分かったこと

実際の西京区②

地域資源は「嵐山」だけではない！
史跡等の遺産も多々ある

桧原廃寺遺跡



「竹の資料館」 竹の工芸品

法輪寺「電燈塔」



撮影：今瀬ゼミ 塚田匠

「西京ウォーキングマップ」の
7つの地域(コース)別で見た

西京区の地域資源の特徴

大原野コース①

- ・「大原野神社」には「瀬和井」や「鹿の狛犬」などの趣のあるものがある

和歌の題材にもある「瀬和井」

本殿にある「鹿の狛犬」



撮影：今瀬ゼミ 塚田匠

大原野コース② 「大原野神社」の鳥居と隠れ茶屋



「大原野神社」以外にも

- 田舎の風景や歴史ある建造物の両方が楽しめる。
- 「三鈷寺」からの眺めが特に**絶景**

大枝(おおえ)コース①

- ・「桂坂古墳」や「福西古墳」などの西京区しかない古墳が発掘されている

「桂坂ニュータウン」内の「桂坂古墳」



「洛西ニュータウン」内の「福西古墳」



撮影：今瀬ゼミ 塚田匠

大枝コース②

「大枝コース」内の「天皇の杜古墳」

桓武天皇夫人の墓の
「宇波多稜」



撮影：今瀬ゼミ 塚田匠

大枝コース③

- ・「**洛西ニュータウン**」は西京区の特産である竹の知識を学べる「**竹の資料館**」などもある

竹の種類、
生態、工芸
品、歴史等
がここで学べ
ます！



川岡コース

- 戦死した人を弔うために建てられた「牛ヶ瀬神社」内の「泉の像」

- 鉄道でなく、歩いて回ると新しい発見を得られる



西京区民の意見

- 西京区にフルーツパークを造ってはどうか
- 高齢者も子育てに関与してはどうか
- 洛西ニュータウンの家賃を変更してはどうか
- 障がい者にも労働の機会を

筆者（塚田）の西京区に対する考え （提案）

- 自然豊かな場所としてPRすべきなのは
「嵐山」だけではない！
- 地域性や犯罪の少なさは、他の京都市より優れているといっても過言ではない！
- 人々の認知度の低さが問題ではないか！？

筆者(塚田)はホームページを作りました

arashiyama-kyoto.
jimdo.com

＜工夫した点＞

- 景色の写真を多く載せた内容
- 読みやすさと見栄えを重視
- 個人的な感想を載せたもの など

ホームページ画面(例①)



作成: 今瀬ゼミ 塚田匠

ホームページ画面(例②)



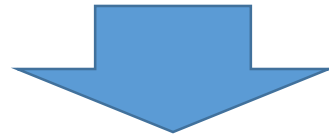
ホームページ画面(例③)



作成：今瀬ゼミ 塚田匠

このホームページを一人でも多くの人に
見てもらうこと

卒業論文を一人でも多くの人に読んで
もらうこと



それにより

西京区の魅力を知ってもらいたい

地域活性化に少しでも貢献したい

と筆者(塚田)は思っています

卒業論文

地域密着個店のPRを 地域活性化に繋げるには

今瀬ゼミ 日下部 侑希

■プロモーションとは

マーケティングの4P(商品・価格・プロモーション・流通)のひとつであり、企業が特定の情報・あるいは企業個人に関する情報を顧客に伝える活動である

プロモーション活動には以下の4種類がある

- ・宣伝
- ・広報活動
- ・販売員活動
- ・販売促進

■西京区での個店プロモーション 調査結果



チラシや情報誌などの配布



地域イベントでのPR活動



インターネットを利用した宣伝

■地域イベントでのPR活動①

お店の知名度を上げることができる

- 地元住民の関心をひき、
お店の名前を覚えてもらう
 - 遠方の参加者へアピールし、
ブログやツイッターで広めてもらうきっかけに
- ■
- 情報が広まることで地元の人に注目してもらえる

■地域イベントでのPR活動②

お店の知名度が高くなる



再び地域イベントでPRを行うと・・・？



その高まった知名度で
イベント来場者が増加する



地域により多くの人を呼び込むことができる

■ 個店プロモーションによる地域活性化

地域イベントでのPR活動
を通じての個店プロモーション



地域イベント自体の
人を呼び込むPR活動



同時に行うことによって相乗効果を生む



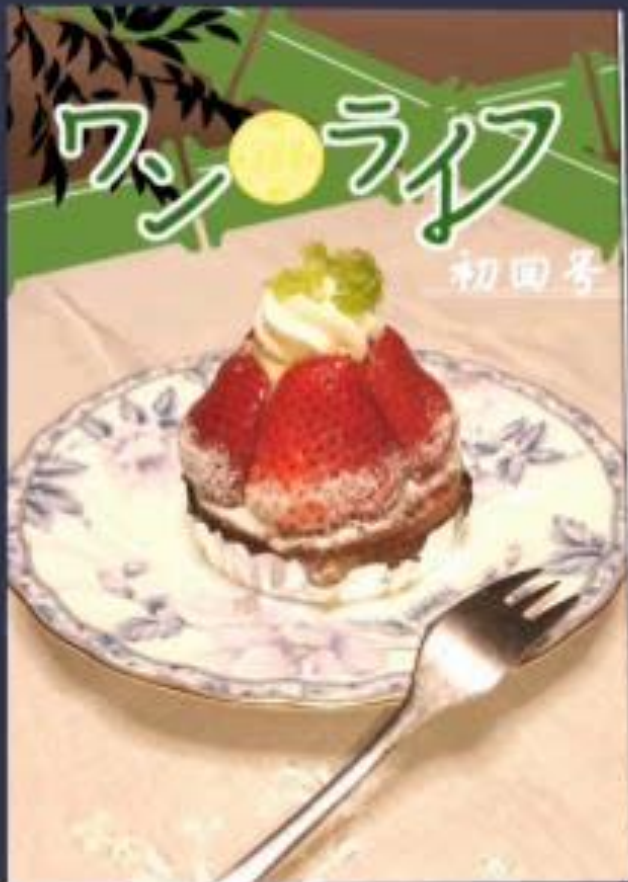
地域活性化につながる

■プロモーションによる 地域活性化策の実践的検証

筆者が作成・発行・配布した
西京区の飲食店の情報誌
「ワン・ライフ」

発行：2017年11月18日
今瀬ゼミ 日下部侑希





■プロモーションによる地域活性化策の実践的検証

情報誌「ワン・ライフ」を配布した、西京区のイベント



西京区民
ふれあい
まつり

～西京らしい文化を築き、つながり・しごと・くらしを育てる西京区～

入場無料

京都市立 西総合支援学校の生徒さんの作品

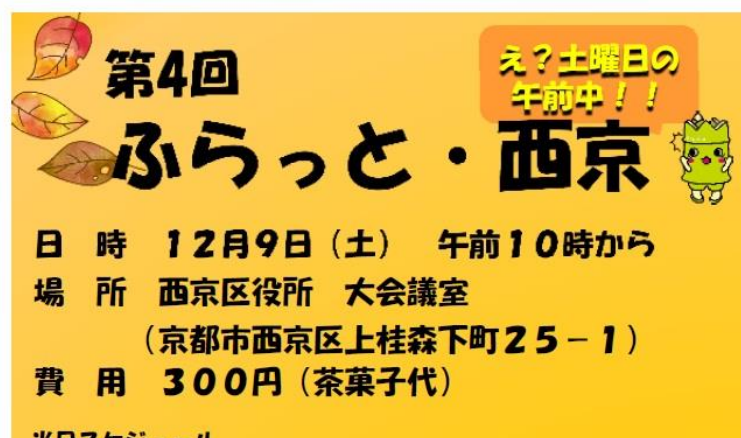
平成29年 **11月18日** (土) 午前10時～午後3時 **雨天決行**
(ブースは午前10時30分～午後3時)

会場：京都市西文化会館ウエスティ

主催：西京区民ふれあい事業実行委員会
発行：西京区役所地域推進室
問い合わせ先：西京区役所地域推進室まちづくり推進担当 TEL 381-7197
洛西支所地域推進室まちづくり推進担当 TEL 332-9318

協賛 (50音順)
元祖 栗納豆本家 くりや・京都 嵐山温泉 渡月亭・京都 嵐山温泉 嵐風の湯 (ふふのゆ)・京都 桂温泉「仁左衛門の湯」・京都銀行・京都信用金庫・京都中央信用金庫・京都トヨペット桂店・京都日産桂店・スズキアリーナ京都西・高島屋洛西店・フレスコ桂店・ホテル京都エミナス・三菱東京UFJ銀行京都支店洛西出張所・吉田屋・洛西郵便局・ラクセーナ商店会

ふれあいまつり(11月18日)
ふらっと・西京(12月9日)



え？土曜日の午前中！！

第4回
ふらっと・西京

日時 12月9日(土) 午前10時から
場所 西京区役所 大会議室
(京都市西京区上桂森下町25-1)
費用 300円(茶菓子代)

当日スケジュール
10:00ごろ 開会・趣旨説明等
10:10ごろ 統計情報からわかる西京区
10:25ごろ ふらっとごあいさつ
10:35ごろ テーマの募集
10:50ごろ テーマごとに、ふらっと・トーク
(途中休憩あり)
11:35ごろ ふりかえり、今瀬先生からの講話
11:50ごろ オープンマイク
12:00 終了
13時まで会場開放

今回は、今年度初の土曜日朝の開催。平日や夜だと来れない人もどんどん来てね。もちろんお子さん同伴OKだよ。

また13時まで会場を開けておくので、仲良くなった人とおしゃべりとかに使ってね。

京都市 西京区役所地域推進室 平成29年11月発行
京都市印刷物 第294740号

目次【今瀬ゼミ生卒業論文】(要旨集編集:石倉恋 和田葵) (卒論フルペーパー、査読あり、各14,000字、2017年11月)

1. ユニバーサル・スタジオ・ジャパンが与える
地域活性化とその影響 (上谷依子)
2. 日本の観光産業について (田口汐里)
3. 西京区における地域活性化
(梅野貴斗 大森大暉 佐々木琢成 杉森正基 外山宇海 林龍也)
4. マスコットキャラクターは必要か？ (石倉恋 中嶋誠也 和田葵)
5. 西京区の潜在的な地域資源の発掘と発信 (塚田匠)
6. 地域密着個店のプロモーションを地域活性化に繋げるに
は(日下部侑希)
7. 富山県利賀村の実態 (清水りか)

1. USJが与える地域活性化とその影響

①USJが設立された経緯

- ・「国際集客都市」を目指す大阪市の中核事業の一環で、USJは此花西部臨海地域の再開発の核とされていた
- ・大阪市のみならず、関西経済圏全域に非常に大きな経済効果を及ぼすことが予想されていた
- ・USJを核に再開発を行うことで大阪湾ベイエリア開発を先導する存在

②一時落ち込んだ集客

- ・集客低迷による不祥事の報道
- ・パークの不明確なテーマ性
- ・ファミリー層の取りこぼし

③復活のはじまり

- ・「世界最高のエンターテイメントを集めたセレクトショップ」へ
- ・子供も楽しめる複合ファミリーエリアの設置
- ・既存のアトラクションを改造・改築する
リノベーション戦略

2. 日本の観光産業について

①日本の観光業界の現状と推移

- ・日本の観光業界は右肩上がり続けているが、今後どのように発展を遂げていくのだろうか
- ・少子高齢化社会の今、国内旅行者を確保するためには、バリアフリー化やペット同伴可能な施設の増設などが期待される

②訪日外国人旅行者の概要

- ・近年、円安やビザ要件の緩和などで、訪日観光客が著しく増加している
- ・訪日観光客が増え、外国人が円で日本のモノを買ったりサービスを受けるとGDPの増加に繋がるというメリットがあるが、一方で治安の悪化などが懸念される

③西京区を中心に見る京都の観光の概要

- ・京都を訪れる観光客は年々増加している
- ・西京区は有名な観光地が少ないが、マイナーな観光地をはじめとした観光スポットの紹介

④観光産業の今後の課題

- ・旅行会社窓口での販売などではなく、インターネットやQRコードなどを使用して、受付や航空券の発行するなど簡易化が求められる

3. 西京区における地域活性化

① 檜原祭り

・ 檜原祭りについて

- ・ 40年前から始まっている檜原祭り。
- ・ 檜原祭りの主な目的
⇒ 地域の活性化。 地域のコミュニケーションの場。
- ・ 担当自治会
⇒ 体育委員会・女性会・少年補導・体育
振興会・社会福祉協議会・民政委員
- ・ 神輿巡行・・・25年前から開始
地域の子供たちと大人、学生で協力。
- ・ 問題・・・地域住民の自治会の脱退による参加人数の減少、少子高齢化。
- ・ 課題・・・学生と地域の連携

②檜原学区総合防衛訓練

・檜原学区統合防災訓練について

- ・40年前から始まっている檜原学区防災訓練

- ・檜原学区統合防災訓練の主な目的

⇒この防災訓練をきっかけに隣近所の支えあいを見直し、なおかつ1人1人が、いつ災害が起きても対処できるように準備をしてもらいたい。

- ・当日の体験

⇒避難誘導・救助訓練

- ・課題⇒・地域の役員が1年で変わる。

- ・様々なニーズに答える必要がある。

- ・避難するときのペットの問題

- ・若い世代が全くいない。

4・マスコットキャラクターは必要か？

「たけにょん」について

- ・「たけにょん」とは西京区のマスコットキャラクターで、京都のなかでは知名度があり、人気である。

- ・2013年に西京区にゆかりのある方を対象に募集したマスコットキャラクター総選挙で最優秀賞に選ばれて誕生したマスコットキャラクターである。西京区の広報部長として活動しており、西京区の魅力について情報を発信している。

京都経済短期大学のオープンキャンパスにきている「たけにょん」に密着してみた。

動画あり

マスコットキャラクターの地域に与える影響

①広告としての役割

イベントや地域活動などマスコットキャラクターの一番の役割は広告だ。一目見るだけで、公共団体や企業が何を訴えたいかが瞬時にわかる。

②記憶力の定着

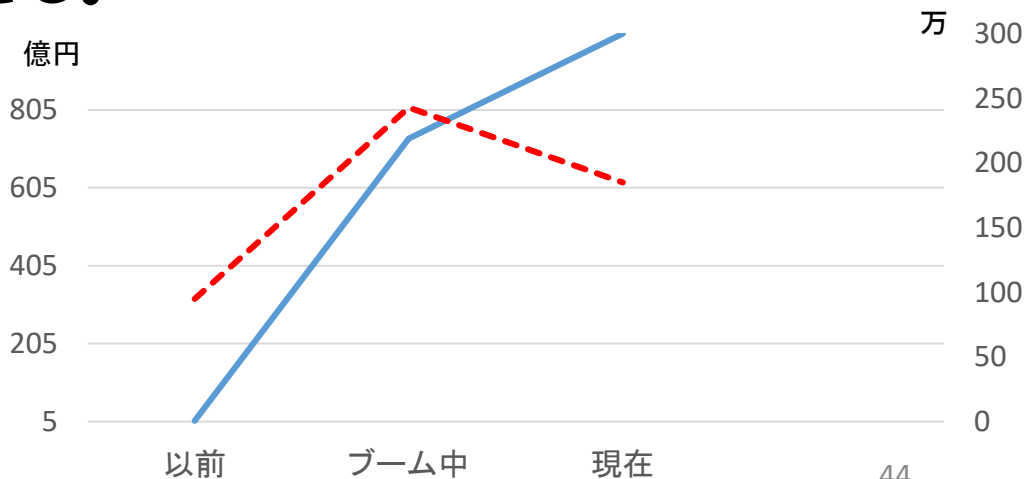
魅力的なマスコットキャラクターはイベントのイメージそのものを良くしてくれて、キャラクターを気に留めてもらえば、イベントの開催についても覚えてもらうことができる。

③知名度上昇、観光客の増加

太線 くまモンによる売上高

点線 「ひこにゃん」による

彦根城の観光客数

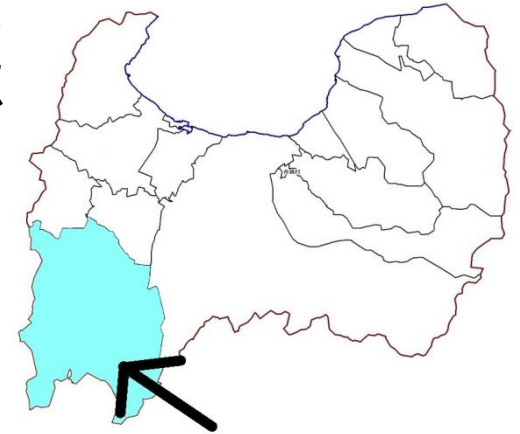


「たけによん」PR動画



7. 富山県利賀村の実態

今瀬ゼミ C3b10073 清水り



研究対象

○富山県南砺市利賀村を拠点とする演劇活動団体「SCOT」

○「SCOT」とは

・・・利賀村のこの広範囲の土地を利用し、かつグローバル的な演劇活動行った背景に劇団の姿「scot」がある。土地内には、演劇活動用の施設が、今まで活用されていなかった、合掌造りが再活用、再利用されている。

浮き彫りになった課題

○利賀村住民の減少

富山県南砺市利賀村の住民が年々減少している。

日本の人口は、「国立社会保障・人口問題研究所」の推移に寄れば、2014年現在の12,722万人から2040年には8,674万人まで減少するとされている。

「SCOT」により演劇が盛り上がりとうとも、現地の人間が減少すると、民宿などの人手不足にもつながる。

(卒論フルペーパー、査読あり、各14,000字、2017年11月)

1. ユニバーサル・スタジオ・ジャパンが与える地域活性化とその影響 (上谷依子)
2. 日本の観光産業について (田口汐里)
3. 西京区における地域活性化
(梅野貴斗 大森大暉 佐々木琢成 杉森正基 外山宇海 林龍也)
4. マスコットキャラクターは必要か？ (石倉恋 中嶋誠也 和田葵)
5. 西京区の潜在的な地域資源の発掘と発信 (塚田匠)
6. 地域密着個店のプロモーションを地域活性化に繋げるに
は (日下部侑希)

今瀬ゼミの発表を終了します

ご清聴、
ありがとうございました